

昭島市郷土資料室歴史講座

# 紅林家文書が語る

# 戦国の社会

戦国時代、関東は後北条氏が支配し、昭島は滝山城主 北条氏照の統治下にありました。今川家旧臣の紅林八兵衛も主家滅亡後、関東に移住し、北条氏に仕えました。本講座では、その八兵衛が残した「紅林家文書四通」の背景と内容等を読み解き、戦国社会の実態について講義していただきます。講師は八王子市文化財保護審議会 副会長の加藤哲さんです。



紅林八兵衛宛 北条氏政感状 元龜2年(1571年)

令和3年(2021年)

9月18日(土)/19日(日)

時間：午後1:30～午後3:10 (開場は午後1時です) ※質疑応答含む

場所：アキシマエンス 校舎棟2階 202会議室

定員：30名(事前予約制・申込順)

参加費：無料

お申込み：9月2日(木)午前10時より、国際交流教養文化棟1階、郷土資料室までご来館、もしくはお電話でお申し込みください。TEL:042-543-1523

※1日目と2日目で講義内容が異なります。2回とも参加できる方を優先します。1回だけの参加をご希望の方は、お申込の際に、ご相談ください。

—昭島市郷土資料室歴史講座—

## 紅林家文書が語る 戦国の社会

令和3年

第1回：9月18日(土)

今川氏滅亡と  
紅林家文書の背景

第2回：9月19日(日)

戦国大名北条氏の領国支配と  
紅林家文書

加藤哲(かとうあきら)氏プロフィール

八王子市文化財保護審議会副会長

東大和市文化財専門委員

武蔵野文化協会理事

もと都立高校教員(府中・昭和・東大和南・武蔵高校)

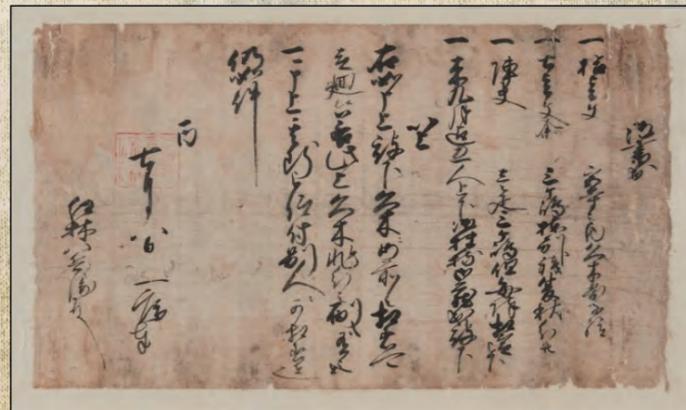
國學院大學文学部兼任講師

専門：東国中世史

執筆：『所沢市史』、『調布市史』、『新八王子市史』等

論文：「北条氏照による八王子領支配の確立」

「後北条氏の南武蔵進出をめぐって」他



紅林八兵衛宛 北条氏照印判状  
天正年間(1573年～1592年)

「紅林家(くればやしけ)文書四通」は、昭島市に現存する唯一の中世文書であり、昭島市指定有形文化財(昭和48.7.10指定)です。古文書の内容については、文化財指定から約半世紀の間に研究が進み、当初とは異なる解釈も提起されています。

そこで今回は、近年の研究動向を踏まえ、後北条氏の研究に造詣が深い加藤哲(かとうあきら)氏を講師としてお招きし、貴重な文化財である紅林家文書が発給された背景や、その内容について講義していただきます。



\*JR青梅線「昭島駅」もしくは「中神駅」より徒歩10分

\*立川バス「昭島駅北口」発(昭22・昭23・昭24・昭26系統)「昭島市民会館」下車 徒歩5分

\*立川バス「松中団地操車場」発(拝13系統)「昭島市民会館」下車 徒歩5分

\*市内循環「Aバス」北ルート「アキシマエンス」下車すぐ

お問い合わせ：昭島市郷土資料室

〒196-0012 東京都昭島市つつじが丘3-3-15 アキシマエンス内

国際交流教養文化棟1階 TEL:042-543-1523 FAX:042-542-8002

※昭島市民図書館共通

アキシマエンス  
AKISHIMA ENSIS

昭島市 教育福祉総合センター

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、企画の開催を延期、または中止にする場合がございます。予めご了承ください。